

| | | |
|---|-------------|----------|
| 活動名 みんなでつくろう！わがまち公園マップ | 団体名 | チャイルドリーフ |
| | 地域 | 広島県安芸郡 |
| | 代表者 | 代表 深川 暢寛 |
| | 支援金額 | 30万円 |
| 活動概要 | | |
| <p>私たちの町では、何か地元でボランティア活動をしたいと考える若者はいますが、その活動を望んでいる場とのマッチングが十分できていません。また、多世代交流機会はあるものの、ともに地域課題について考えたり、協力し合ったりする機会が少なくなっています。それらの課題をふまえ、今回の活動では、住民から要望の高い公園マップ(知りたい情報がわかりやすく掲載されたもの)の作成を行い、若者の地域活動のきっかけと地域とのつながりづくりを進めます。また、地域の子どもから大人までがともに地域のテーマを考え、発見・発信する喜びとやりがいを共有することを目指します。</p> <p>◆実施時期 時期:2014年5月～2015年3月 場所:会議などは主に児童センターバンビーズにておこなった</p> <p>◆参加人数 大人18名 大学生7名 小学生7名(アンケート協力者約500名)</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:32名</p> | | |



公園サミットの様子



公園サミット集合写真



取材風景



大学生夜廻り調査の様子

◆実施に伴う効果

- ・各種方面より問い合わせが多数あった。県立図書館からは郷土資料コーナーに保存したいとの連絡もあった。
- ・新たに転入してきた方から感謝の言葉があった。
- ・公園などでマップを手をしている方やマップを見ながら公園に行かれている姿をみかけた。
- ・小学生からはマップとしてだけではなく読み物として他校の遊びや現状など知るきっかけとなった。
- ・公園担当課へ公園の現状や修理箇所などリアルな声で伝えることができた。
- ・これまで公園について詳細まで記載している物がなかったので新たな形として残すことができた。
- ・地域で夜廻り活動をおこなっている事を伝えることができた。
- ・小学生が公園や遊びについて考える機会ができた。
- ・マップを通して様々な方々と出会い共感していただき新たなネットワークを構築する事が出来た。

◆苦勞した点

- ・公園の数が多く公園調査に多くの時間を費やした。
- ・当初、参加者が集まらず小学生対象の公園サミットを延期した。
- ・予算が十分になく印刷費、構成費に充てる以外の余裕がなかった。
- ・構成メンバーの集まれる日が限られている為(仕事など)十分な打合せが出来なかった。
- ・大学生は普段、学校があるため長期休暇など時期が限定されるため調整に苦勞した。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・マップは印刷費、構成費など予算が多くかかるため予算の確保が一番の課題。
- ・大学生との連携は時期が合わない場合は調整が難しい為、役割やスケジュールなどは先を見越して立てる必要性を感じた。
- ・様々な方面の方々と連携することで読み手のニーズが見えてきたこともあり多くの方とネットワーク構築していく必要性を感じた。
- ・NPOやボランティア活動があまり浸透していない所では行政が作成したと思っている方が多くいた為行政への問い合わせが多くあった。今後、PR自体を見直して地域住民、地域の団体が作成している事を前面に出して地域に密着した団体を目指したい。

◆活動を終えての感想・意見等

今回の助成を受ける前は予算不足の為、マップの作成を半ばあきらめておりました。助成が確定して構成メンバー全員がマップ実現に向けて取り組むことができました。また、今回の助成を通して公園について調査し改めてニーズの高さに触れることができました。しかし昔に比べて遊ぶ場所や制限が多くあり現代の子どもの遊び事業に関心が薄れていることも事実です。ボール遊びも思いっきり出来ない現代にこの公園マップが少しでも公園について考えるきっかけになることを願っております。

最後にこのような機会を与えて下さったマツダ財団様や地域の方々には心より感謝申し上げます。今後、どのような方向で進んでいくかは未定ですがまたこのような機会がございましたらよろしく願い致します。